2014 年度の事業報告書

2014 年 5 月 1 日から 2015 年 4 月 30 日まで

特定非営利活動法人 ratik

1　事業の成果

法人設立 2 年目の 2014 年度も、研究・実践の現場の「中へ」「中で」、という設立当初の方向性のとおり、組織内外の種々の場所でのディスカッションを通じて、事業活動の細部を定め、実施していく一年になりました。

とりわけ 9 月に京都で開催された日本心理学会のシンポジウムでは、「小規模でも大切な学術コミュニケーション」を維持・発展させていくために、電子書籍出版を一つの手段として持つ ratik が貢献出来ることなどをテーマに話題提供を行い、みなさんと共に考える場を持つことが出来ました。

1 年目に整えた法人 web サイトや電子書籍販売システムを元に、今期も 4 点の新刊（うち 1 点は無料公開版）を発行し、既刊本（4 点）と合わせた周知、普及に努めています。

数量的な意味で、全体として充実したラインナップを形成出来ておらず、書籍販売サイトとしてのポテンシャルを上げることには未だ成功していません。このため、販売数も限定的なものに留まっていることから（年間の総販売冊数は 56、グロスの売上額は 72,300 円）、今後、法人経営の意味からも、企画・制作段階から周知、普及を意識したコンテンツづくりが求められます。

スマートフォンやタブレット端末の普及を受け、2014 年度には低価格設定に加え短時間で読み切れる「スマホで考える」シリーズを刊行、モバイル機器の小さなディスプレイでも読みやすい工夫を凝らした電子書籍の開発に努めています。また、外部ページの解説動画とシームレスにリンクさせる仕組みを書籍内に設置するなど、「電子媒体ならでは」の利点を創造する努力を続けています。

長文を小サイズのディスプレイ（スマートフォン、タブレット）で閲覧する際には、PDF 形式よりも EPUB 形式 のほうが断然読み易いという実態があります。しかしながら、これまでの「馴れ」の面も大きく、利用者の声からも、EPUB 形式の書籍ファイルの扱いの難しさが指摘されています。今期半ばからは PDF の組版精度を上げ、読者の要望に応えていける体制が整いました。

編集・校正や電子出版の力量を活かし、今期は最近新設された「日本マインドフルネス学会」「〈身〉の医療研究会」の機関紙（電子ジャーナル）の立ち上げに参画し、編集事務局として、企画、査読・審査、編集・校正、制作、公開に関わる種々の業務を担わせていただいています。

これらの業務は、当初想定していた法人としての２つの事業（狭義の「電子書籍等出版事業」と「情報発信事業」）の区分を超え（両者を含み）、法人としての目的である「学術コミュニケーションの活性化」を実現していく意味で、有効なものとなっていきます。

2　事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に関わる事業

主に人文・社会科学系の諸学問や、学問に根ざす各種実践に係る専門図書の新刊を

電子書籍等として企画・編集・制作・販売する事業

事業内容	具体的な事業項目	(A)実施日 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)受益対象者の人数	事業費の金額 (単位：円)
電子書籍の企画	既存文献等の探索	(A) 不特定 前年度からの継続で 4 点の電子書籍を販売 新たに 4 点の新刊を 発行、販売開始 〔発刊月〕 2014 年 6 月、8 月 2015 年 3 月、4 月 その他、 学会・研究会の機関紙 （電子ジャーナル） 発行に伴う、 企画、編集、制作業務 を行っている (B) アウトプットの 電子書籍は、ratik の 法人 web サイト上で 販売 http://ratik.org (C)2 人	(D) 研究者・実践家を 中心に広く市民一般 (E) 不特定 年間の書籍売上部数は 56 冊	1,215,470
	学会、研究会等の聴講			
	執筆者候補とのやり取り			
	編集会議			
電子書籍の編集・制作	編集・校正作業			
	電子書籍ファイルの制作			
電子書籍の販売	販売システムの構築、改良			
	販売システムの運用			
	広告・宣伝活動			

上記の出版事業や、学術・実践の発展、ひいては豊かな市民社会の形成に資する情報を収集・整理・発信する事業

事業内容	具体的な事業項目	(A)実施日 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)受益対象者の人数	事業費の金額 (単位：円)
情報の収集	既存文献等の探索	(A) 不特定 年度当初より 計 6 点の記事を作成 また、 学会・研究会の機関紙（電子ジャーナル）発行に伴う、情報発信や論文公開の準備を進めた (B) アウトプットのブログ記事は、ratik の法人 web サイト上で公開 http://ratik.org (C)2 人	(D) 研究者・実践家を中心に広く市民一般 (E) 不特定	150,076
	学会、研究会等の聴講			
	研究者・実践家とのやり取り			
情報の整理	情報の体系化や重みづけ			
情報の発信	自社 web サイト等での情報発信サイトの管理、更新			